

# 【提出書類B】 2023年(1月～12月)の収入実績申告書

日本学生支援機構奨学金申請者のみ  
父母からの給付がある場合、父母等の氏名自署が必要です。

私の2023年の収入実績は以下のとおりで相違ありません。

添付書類： 合計 点 を本用紙に添えて提出します。

給付者に○。父母以外は続柄を記入

給付者(父・母・ )氏名【自署】: \_\_\_\_\_

父母等からの給付額について、申請者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

学籍番号:

申請者氏名:

| 収入区分                         | 定職   | アルバイト  | 父母からの給付  | 奨学金   | その他<br>(預貯金の取崩し等)                         | 配偶者の有無: 有・無<br>配偶者の定職: 有・無<br>(有の場合、下記へ記入)                                  |
|------------------------------|--|--|--|---|---|---|
| 2023年中の<br>収入額<br>(1万円未満切捨て) | 合計<br>万円   | 合計<br>万円   | (a～dの合計)<br>合計<br>万円   | 合計<br>万円  | 合計<br>万円                                  | 配偶者収入の合計<br>万円  |
| 内 容                          | 職 業:   | 勤務先①<br>名称:<br>( )万円/年額                            | a. 日常生活費(食費・住居費等):<br>( )万円/年額   | 日本学生支援機構<br>( )万円/年額<br>(内訳)<br>月額_____円×( )か月分           | 預貯金取崩し<br>( )万円/年額                        | 配偶者氏名:  |
|                              | 勤務先:   | 信憑書類<br>・源泉徴収票 確定申告書控<br>・給与明細( 年 月～ 月)<br>・その他( ) | b. 学費:<br>( )万円/年額<br>＜参考:2023年度の法政学費＞<br>法政大学国際文化学部 140万円<br>法政大学他文系学部 109万円<br>法政大学理工系学部 160万円<br>※応用植物学科 166万円<br>大学院理系<br>修士課程 97万円(※植物医科学 103万円)<br>博士後期課程 80万円(※植物医科学 86万円)<br>* 上記以外は各自で調べること | * 内容を確認できる書類を添付すること<br>(2024年1月～3月に学部で受けていた機<br>構奨学金分は不要) | 年金<br>( )万円/年額<br>* 内容を確認できる書類を添付すること     | 職 業:  |
|                              | 添付書類:<br>(いずれかを添付。コピー可)<br>ア 源泉徴収票(2023年分)<br>イ 確定申告書控(2023年分)<br>ウ その他( ) | 勤務先②<br>名称:<br>( )万円/年額                            | c. 通学費(定期代等):<br>( )万円/年額  | その他の奨学金①<br>名称:<br>( )万円/年額                               | 雇用保険<br>( )万円/年額<br>* 内容を確認できる書類を添付すること   | 添付書類:<br>(いずれかを添付。コピー可)<br>ア 源泉徴収票(2023年分)<br>イ 確定申告書控え(2023年分)<br>ウ その他( ) |
|                              | 特記事項:  | 勤務先③<br>名称:<br>( )万円/年額                            | d. 小遣い・その他<br>( )万円/年額   | その他の奨学金②<br>名称:<br>( )万円/年額                               | その他( )<br>( )万円/年額<br>* 内容を確認できる書類を添付すること | 特記事項:   |

## 【注意事項】

裏面の記入例をよく読み、太枠内にもれなく記入・押印すること。  
1万円未満は切り捨てて記入すること。アルバイトが複数ある場合、それぞれ1万円未満は切り捨てること。  
アルバイト先が三カ所以上ある場合など、書ききれない場合は別紙に同内容を記入し、添付すること。その際は合計欄は別紙記入分も含めた総合計とすること。

＜事務使用欄＞